

沖縄県公安委員会定例会会議録

令和4年9月15日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

1 質疑等

(1) 令和4年度第1回サイバー事案対処能力検定の実施について

委員から「サイバー事案が増加している現代において、対処能力を身に付けることは警察職員にとって必要である。今後も職員の能力向上や人材育成に計画的に取り組んでいただきたい。」旨の意見がありました。

(2) 適切な通信指令業務による検挙事例について

委員から「通信指令業務は事案対応の入口であり、瞬時に判断を求められる難しい業務である。職員の勤務体制の確保や人材育成等に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(3) 暴力団関係者らによる強盗致傷事件被疑者の検挙について

委員から「迅速な対応により被疑者を検挙したことを評価する。今後も厳正に対応していただきたい。」旨の意見がありました。

(4) 県内の暴力団排除対策の実施について

警察から、宮古島市の「暴力団追放宮古島市総決起大会」や金武町で結成された「金武町海浜・海域への暴力団等介入阻止同盟」など暴力団排除の取組について報告がありました。

委員から「機先を制するという意味で、非常に良い取組である。県全体で更に活動が盛り上がるように、警察は暴力団排除に向けた対策を継続、推進してもらいたい。」旨の意見がありました。

(5) 令和4年秋の全国交通安全運動の実施について

委員から「交通事故防止は県全体で取り組むべき課題なので、警察だけではなく、企業や学校などと連携し、一緒に交通安全運動を盛り上げていく取組を推進していただきたい。」旨の意見がありました。

(6) 沖縄科学技術大学院大学に対するアウトリーチ活動の実施について

警察から「沖縄科学技術大学院大学に対して、技術情報等流出防止に関する助言、指導を実施した。」旨の報告がありました。

委員から「日本の高度技術の情報流出を防ぐため、地道だが大切な活動である。企業や他の大学等にも活動を広げ、関係機関と協力関係を構築するとともに連携を強化してもらいたい。」旨の意見がありました。

(7) その他

警察本部から「経済安全保障は、技術的優位性の喪失等により国益がそこなわれないよう、産官学が連携し協力体制を築いて取り組むことが重要である。」旨の発言がありました。

2 主な決裁等

警務部

- 苦情の回答について
- 保有個人情報不開示決定に対する弁明書の提出について
- 公文書不開示決定に対する弁明書の提出について
- 苦情の受理について
- 訟務関係について

交通部

- 自動車運転免許の行政処分について

警備部

- 警備情勢について